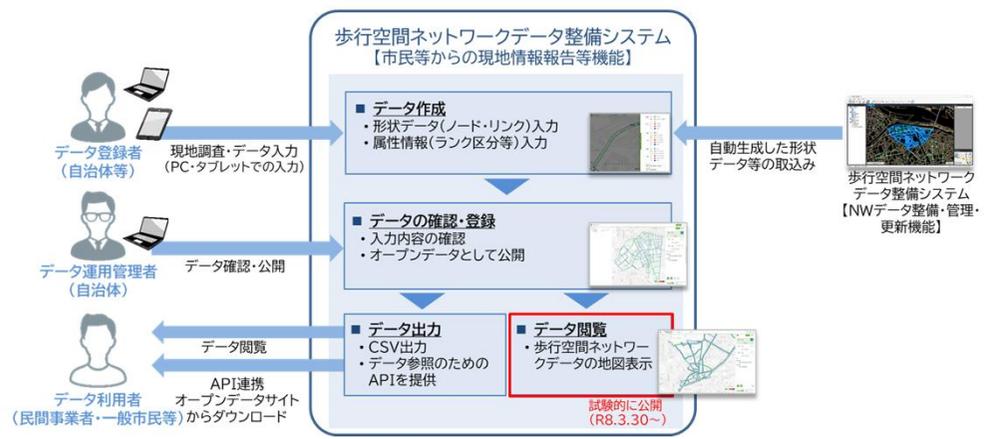


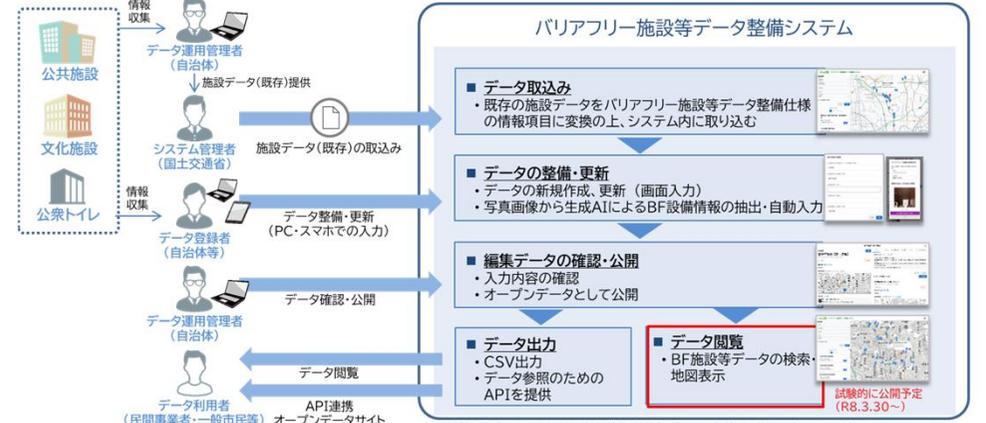
- 歩行空間ネットワークデータ整備システムについては、今年度現地実証等で整備した赤羽駅周辺の歩行空間ネットワークデータとともに、データ閲覧機能の試験的な公開を実施。
- バリアフリー施設等データ整備システムについては、今年度現地実証等で整備した大阪府豊中市・池田市のバリアフリー施設等データと東京都のオープンデータであるバリアフリーストレデータとともに、データ閲覧機能の試験的な公開を実施。

## <システムの試験的な公開>

歩行空間ネットワークデータ整備システム 全体イメージ  
【市民等からの現地情報報告等機能】



バリアフリー施設等データ整備システム 全体イメージ

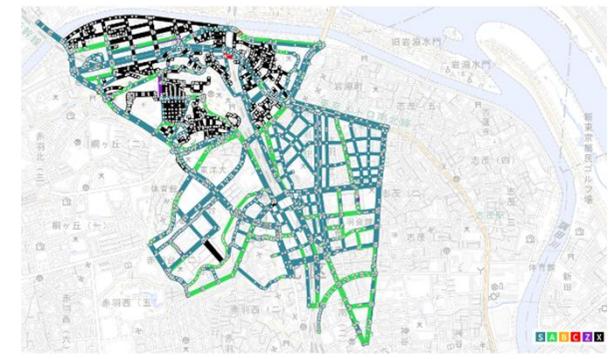


\*生成AIを活用した写真からの情報抽出や対話形式による投稿が可能な、ボランティア等がスマートフォンを用いて簡単に投稿できる仕組みを検討。

## <オープンデータ化>

### 歩行空間ネットワークデータ

・東京都北区



### バリアフリー施設等データ

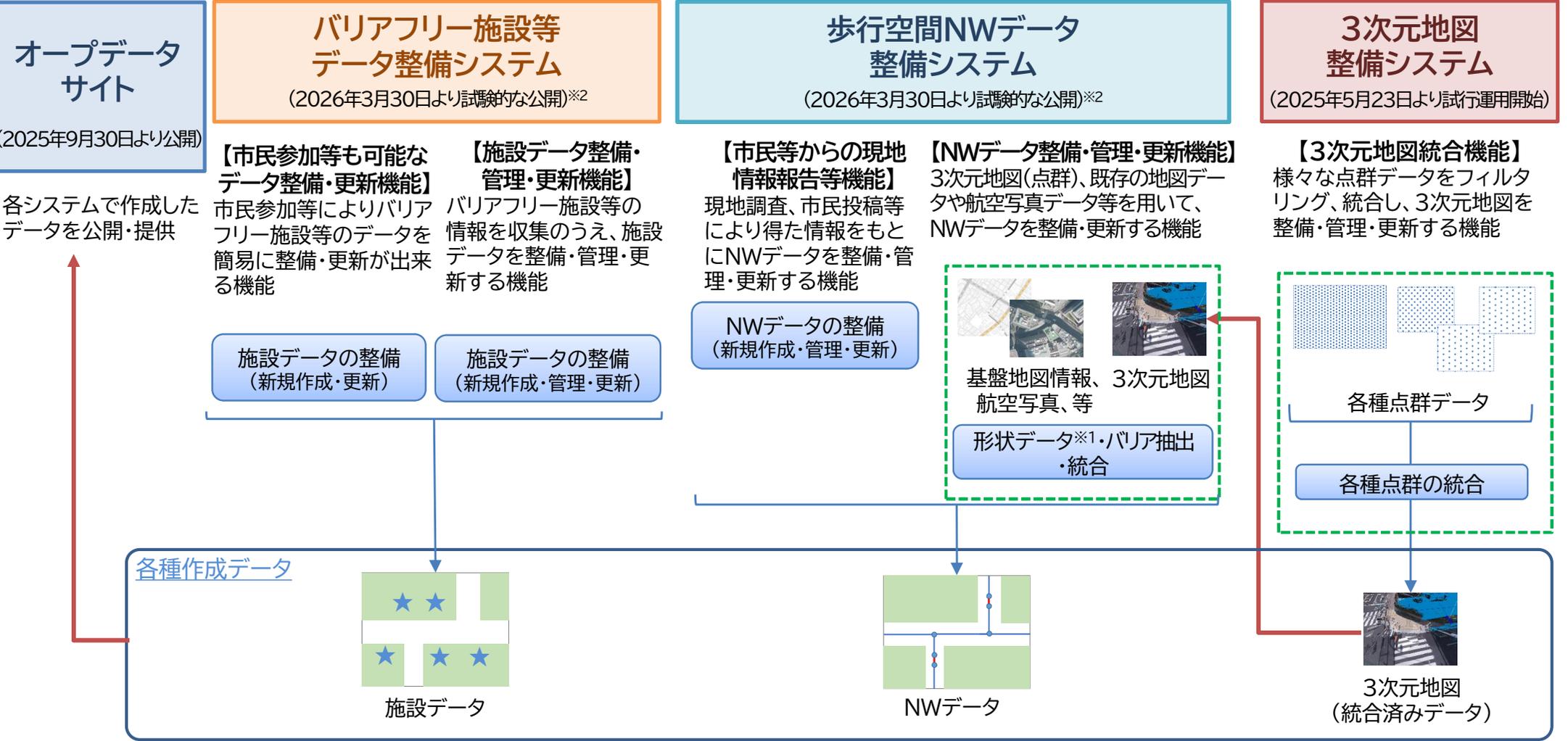
- ・大阪府豊中市
- ・大阪府池田市
- ・東京都バリアフリーストレデータをバリアフリー施設等データ整備仕様(案)に基づき変換したデータ



# 【参考】歩行空間ナビゲーションデータプラットフォーム(ほこナビDP)の機能



- ほこナビDPは、歩行空間における移動支援サービスの普及・高度化を促進するため、歩行空間NWデータの効率的な整備・管理・更新や自動配送ロボット等の走行に活用できる3次元地図の統合処理、バリアフリー施設等データの整備・管理・更新の効率化のための機能を持つシステム(現行版はプロトタイプ)。
- 整備された各種データは国土交通省HPのオープンデータサイトで公開。
- 今後、自治体等への支援ツールとして広く活用していただくため、試行利用の場を増やし、継続的に操作性や機能性の改善を図る。



プログラム処理でデータを作成の上、必要に応じて手動操作によるデータの編集を実施する。

※1 バリア情報を含まない歩行空間のネットワークデータ  
 ※2 編集機能については次年度の準備が整った段階で試行運用開始予定